

第4回 八王子市特別職報酬等審議会

平成27年6月26日（金）午後2時

八王子市役所 第五委員会室

出席者 石井昭久委員、岡本孝之委員、立川正晴委員、秋間利久委員、
伊羅胡和哉委員、田中康之委員、原 幸子委員、川原恵里委員、
桐越麻美委員、千葉 茂委員
総務部長、職員課長、職員課事務局2名

会議内容

1 開 会

2 議 事

（1）前回の議事録の確認

（2）資料説明

事務局より次の資料が提示され、資料の要点について説明があった。

- ① 第三回八王子市特別職報酬等審議会議事録（案）
- ② 各種経済指標
- ③ 常任委員会及び議会運営委員会委員長の報酬について
- ④ 類似団体との特別職報酬等比較（相模原市含む）
- ⑤ 一般職の職員の地域手当について

3 質疑及び意見

〔事務局〕資料について説明

【会長】ただいまの説明に対して、ご質問はありますか。

（質問なし）

【会長】今後8月に発表される人事院勧告、各種経済状況等を引き続き見守る必要があります。また、類似団体と比べて不均衡が生じている部分もあるかと思います。

【委員】社会情勢という視点もあります。八王子市が中核市になったことや、オリンピックなど国全体もアップしていくのではないかと考えています。具体的なことについては、8月の人事院勧告のあとでも良いと思います。

【会長】手当について、事務局から説明ありますか。

【事務局】手当等の資料は用意しておりますので、説明させていただきます。

〔事務局〕職員の給与構成の資料の説明

【会長】特別職に関しては、通勤手当などはなく、報酬額で考えるということによろしいですか。

【事務局】そのとおりです。

【委員】国の方針としても給料をアップしても良いという方向性もあります。中核市の中で議員の報酬額が類似団体と比べると低く、増額する必要もあると思われるが、納得のできる資料があると良いのかなと思います。

【委員】中核市になったからというだけでは、実際の業務負担がわかりません。それぞれの特別職の

役割や負担、中核市の業務のバランスなどがより明確になると、議論が進むかと思います。

【委員】一般職の他市との比較は地域手当などが入ったものですか。

【事務局】手当は入っておりません。給料のみの比較ですが、一般職の給料は市職員の年齢構成や役職なども関係してきまして、単純に比べるのは難しいです。

【委員】市制100周年、中核市になった、なったからということではなく、なったことにより、特別職が今以上に仕事をしなければならないのではないかなと思って話をしました。これから、1年、2年先は忙しくなっていくのかなと思います。

【委員】中核市になったということがプラスに出たり、マイナスに出たりと、中核市になったからどうなのかというのもあると思います。単に中核市になったから、上げるとか、下げるとか、難しい部分がありますが、この審議会の中でも中核市を一つの要素として、考える必要がある部分だと思います。

【会長】特別職の役割が重くなってきますし、優秀な方に議員を目指してもらうためにも、平均的な給料というのにも必要だと思います。中核市になったからというのではなく、見直しをしていない中で、中核市になったタイミングで比較してみると、こういうことが出てきたと理解しております。

【委員】中核市では常任委員会及び議会運営委員会委員長で報酬額を別設定のところはあまりないが、東京都内、26市では分けているところが多い。八王子市は別設定で行くということ良いか。

【事務局】それも議論の中で決められると思います。また、以前にも話題になりましたが、八王子は委員長、副委員長に報告などの役割を付加しているため報酬額を別に設定しているとのことでした。議会運営は市で各々決めております。

【委員】議員の報酬には、手当等は全く付かないのでしょうか。

【事務局】手当は付きません。

【会長】教育長は他と比べて高くなっていますが、これについてなにかご意見いただきたいと思いますので、次回以降お願いいたします。

【委員】教育長の給料について、理由があつてこの金額設定をしていると思いますので、資料をお願いします。

【会長】本日の審議をまとめると、やはり議員の報酬は他に比べると低く感じる。また、皆さんから意見ありましたように、増額を説明できる資料が必要になります。教育長の給料についてどうするかというものも次回審議できればと思います。それでは、第四報酬審議会を終了します。

次回 平成27年8月28日（金）午後2時～